生加速化に890億
本県要望の反映状況

府予算案・30
算案に対する
映状況は福島
交付金890
復興再生拠点
億円、福島生
・帰還再生加
0億円などと
日、県庁で開
ふくしま復興
議・福島イノ
・コースト構
会議合同会議
報告された。
、総合計画審
意見に対する
方針を決定し
事業に対し審
議会が知事に具申し、これを基に次年度事業の構築に当たる。
定住2地域につながる受け入れ体制の整備や農地・森林の整備・林業の担い手確保、若者の県内定着・還流に向け基礎企業の振興、魅力ある雇用の場づくり、AI・IOT等を活用した生産性の向上などが盛り込まれた。
※2面に予算反映状況

フタバコンサル優秀賞
i-Con大賞

建設現場の生産性を高める優れた取り組みを表彰する国土交通省の「i-Construction大賞」で今年度、本県・フタバコンサルタントが「i-Construction推進コンソーシアム会員の取組部門」優秀賞に選ばれた。表彰式は年明けに行われる。

同社は独自に作成した作業規定・マニュアルを基に、現場に合わせた機器で広範囲、高密度の3Dデータを多くの現場で提供。自治体や建設団体、学生を対象にしたセミナー、見学会を通じ、ICT活用技術の水平展開を図るなど普及への取り組みに力を入れている。

福島市にメガソーラー
佐原太陽光発電事業を計画

あづま小富士第一発電所

あづま小富士第一発電所合同会社（代表社員＝ティーダ・パワー55合同会社、職務執行者＝ジェフ・ロイ、福島市渡利字舟場56の1）は、福島市佐原に発電出力8万キロワットの太陽光発電所の建設を計画している。21日付で環境影響評価方法書を公表した。

仮称・佐原太陽光発電事業として、佐原字富士見164ほか地内の国営農用地開発事業で造成されたものの、未使用か耕作放棄された農地などに太陽光発電設備を設置する。事業実施区域は約183ヘクタール。大規模な切・盛土工事は行わない計画で、工事期間は整地、太陽光パネル設置などで約1年を見込んでいる。環境影響評価は中電技術コンサルタントに委託している。

環境影響評価方法書は31年1月21日まで、県生活環境部環境共生課、福島市環境部環境課などで縦覧可能。カナディアン・ソーラー・プロジェクト㈱（東京都新宿区）のHPでも閲覧できる。1月17日午後6時から福島市のJAふくしま未来福島南支店で説明会を開く。

年表記を西暦に変更

お断り 福島建設工業新聞は、31年1月1日発行分から、記事中の年表記を原則、西暦に改めます。西暦表記が一般化してきたことに加え、改元を控え、表記の連続性を確保するためです。慣用的に一部表記については、和暦（元号）を用いる場合もあります。

読者各位にはご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

税率の引き上に相次いで発
模災害を受
増額に踏み切
た。

せ。31年度当初予算案の通常分は、消費増税による支出増を見込んで807億円増の6兆596億円（1・3％増）だが、15・1％増の5兆966億3億円。これに次ぐ農林水産省は19％増の816億円と伸び率で国交省を上回った。このほか、（23・5％増）、経済産業省が31億円（47・6％増）といずれも前年度額を上回っている。

特別会計でも、東日本

槌音

福島市内で開かれたある忘年会での会話。まだ若い社長が「震災・原発事故の後、嫁と子どもは山形に避難してしまって、そのまま帰ってこない。初めのうちは寂しくて頻繁に通っていたんだけど、最近は一人の生活に慣れてきて、これも気楽でいいかな、と思うようになったよ」と笑うが、複雑な気持ちだろう▼あれから7年が経過した今年も、